

書 評 Book Reviews

□岡林里佳 他：牧野富太郎の本 Rika OKABAYASHI et al.: **Makino Botanical Garden Presents: An Introduction to the Life of Dr. Tomitato Makino** A5. 34 pp. 2018. 公益財団法人 高知県牧野記念財団. ¥540 (税込). ISBN no number.

植物学に限らず自然科学の全分野で、牧野富太郎は日本人としては最も著名な学者といえるだろう。一般人対象のものだけでなく、小・中生向きの伝記も出版されているくらいだ。生まれ故郷の高知県には高知県立牧野植物園があり、園内には標本を除く、牧野の図書やその他遺品を収蔵する記念館がある。

本書「牧野富太郎の本」は、記念館の入館者向けの案内書たるを意図として作成されたと思われる、小1時間もあれば写真その他の資料と共に読み通せる。34ページの小冊子ながら、牧野の生涯、その仕事と成果などが実に要領よくまとめられている。しかも平均すれば1ページに3点弱になる88点の写真、植物画、自筆稿などが収載され、普通なら目障りになる挿図の多さが構成の巧みさのためか、ほとんど気にならない。

ここに書かれていることは、いわば牧野についての基礎情報とでもいえるものだが、記述は簡にして要を得たものである。注目してよいのは、これまでの牧野の伝記類につきものの、根拠のない東京大学との確執や冷遇話等がいっさいないことだ。そのこともあって、牧野の植物研究への執念と成果を求めて青年期からの獅子奮迅ぶりが一層よく伝わる。また研究に一区切りつけた晩年、広く一般に向けた植物知識の普及のための種々の試み、植物情報ネットワーク構築への努力も要領よくまとめられている。これまで牧野が「植物学雑誌」の創刊人のひとりとする類の誤った記述は大部分消え、本誌「植物研究雑誌」の創刊とその意義の記述も短いながら正確だ。最終ページと裏表紙見返しには簡素だが的確な年表が添えられている。表紙と目次に英文タイトルと思われるものが記されているが、表現にはひと工夫必要だろう。

編集・執筆人には、岡林の他、鴻上 泰、里見和彦、藤川和美、村上有美が名を連ねる。とくに里見のイラストは牧野の風貌を想像させるものがあり見事だ。

(大場秀章 H. OHBA)

□田中法生 (監修)・水草保全ネットワーク (著)：みんなが知りたいシリーズ 10「水草の疑問 50」 Norio Tanaka (ed.) and Japan Aquatic Plants Conservation Network: **50 Questions about Aquatic Plants**. 四六判. 268 pp. 2018. 成山堂書店. ¥1,600 + 税. ISBN 978-4-425-98331-5.

みんなが知りたいシリーズ 10 冊目として水草が取り上げられました。あまり身近で目にすることのない植物ですが、一旦水草にはまると別次元の世界に魅了されます。本書は水草のことを少しでも興味を持つ人ならば、ごく自然に湧いてくる疑問を丁寧に解決してくれます。

ハスとスイレンの違い、ハナショウブとカキツバタとアヤメの違いなどの初歩的な疑問から、タヌキモやムジナモの捕虫の仕方のようなマニアックな疑問まで、素人にもハイアマチュアにも、痒いところに手がとどくような読み物です。

本書には海草のことも取り上げられています。さらに海草を「うみくさ」と読んだ方が、海藻「かいそう」と区別できるということに同意していたいたのは誠に嬉しい限りです。

私は学生をつれて南西諸島の海を潜ります。初めて海中の光景を見た学生は、それに取り憑かれてほぼ全員がリピーターとなります。水の中では水中生物も自分自身も無重力で漂っている感がなんととも言えず心地よいのです。

夏の風物詩とも言える西表島のウミショウブの受粉はなんとも不思議です。先日、本種の水面媒というのは風媒ではないのかと指摘されました。水面に浮いた雄花が風の力で雌花に行き着くからですが、とりあえず水媒でいいのではないかなどと学生と議論し、とても楽しい時間を持つことができました。

三大栽培困難水草が海草、バイカモなどの湧水性沈水種、カワゴケソウであることを初めて知りました。私たちの身近にはない環境に生育する生物を飼うことは大変なんですな。

興味深い話題として、東北の大津波で多くの水草の絶滅危惧種が出現したことがあげられています。環境の攪乱により残存種子が発芽し群落を作りました。自然に起こる攪乱により生物の多様性が維持されていることを実験したようなものです。ヒトが環境を改変することで、いかに多様性が減少しているかを語っています。多くの水草が絶滅に瀕しているのは、全国の水環境を改変して